

平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月8日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社 堀場製作所

コード番号 6856 URL <http://www.horiba.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 堀場 厚

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 佐藤 文俊

TEL 075-313-8121

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第3四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	82,713	13.8	7,773	263.3	7,742	255.5	5,008	289.3
21年12月期第3四半期	72,652	—	2,139	—	2,178	—	1,286	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	118.43	118.21
21年12月期第3四半期	30.42	30.38

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第3四半期	136,461	81,921	59.9	1,934.02
21年12月期	129,580	79,977	61.7	1,889.58

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 81,789百万円 21年12月期 79,906百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	6.00	—	7.00	13.00
22年12月期	—	6.00	—	—	—
22年12月期 (予想)	—	—	—	9.00	15.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	116,000	11.0	10,000	94.4	9,700	83.9	5,800	83.4	137.15

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、[添付資料]4ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 22年12月期3Q 42,532,752株 21年12月期 42,532,752株

② 期末自己株式数 22年12月期3Q 243,006株 21年12月期 244,951株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 22年12月期3Q 42,289,687株 21年12月期3Q 42,285,625株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
3. 連結財務諸表等	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
4. 補足情報	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(詳細は、14～15ページ「4. 補足情報 平成22年12月期 第3四半期決算概要」をご参照ください。)

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済をみますと、景気は着実に持ち直してきましたが、夏以降輸出や生産が弱含むなど足踏み状態にあり、また失業率も高水準にあるなど、依然として厳しい状況が続きました。

このような経済状況のもと、当社グループは、自動車産業の投資抑制による影響を受けたものの、半導体業界の設備投資回復などにより、売上高は82,713百万円と前年同期比13.8%の増収となりました。また利益面では、対主要通貨での円高推移や競争激化による販売価格の下落が利益の押し下げ要因となった一方で、半導体システム機器部門での販売増に伴って利益が拡大したことなどにより、営業利益は7,773百万円と同263.3%の増益となりました。

経常利益は、営業利益が増加したことに加え、支払利息が減少したことなどにより7,742百万円と同255.5%の増益となりました。

四半期純利益は、経常増益に加え、前期にたな卸資産評価損を計上したことによる反動もあり、5,008百万円と同289.3%の増益となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

(自動車計測システム機器部門)

日本や欧州、米国における自動車関連業界の投資抑制の影響で販売が低調に推移したほか、円高により海外での売上高が円換算額で目減りし、採算も悪化しました。この結果、売上高は21,867百万円となり前年同期比16.3%の減収、251百万円の営業損失となりました（前年同期は1,063百万円の営業利益）。

(分析システム機器部門)

欧米では各国政府の経済対策による顧客の投資が一巡したことに加え、円高により海外での売上高が円換算額で目減りしました。一方、国内においては第1四半期までの政府支出関連投資の拡大とその後の民間投資の回復により販売は堅調に推移したことから、売上高は23,174百万円となり前年同期比1.9%の増収となりました。また、円高により海外生産品の採算性が改善したことなどから、営業利益は1,141百万円となり同51.9%の増益となりました。

(医用システム機器部門)

円高により欧州での売上高が円換算額で目減りしたものの、血球計数装置の販売が引き続き堅調に推移しました。また、製品設置台数の増加に伴い、検査試薬の販売も増加しました。この結果、売上高は16,781百万円となり前年同期比3.7%の増収、営業利益は1,887百万円となり同50.5%の増益となりました。

(半導体システム機器部門)

シリコン半導体や発光ダイオード(LED)などの製造装置メーカーの生産拡大により、マスフローコントローラを中心に販売が大幅に回復しました。この結果、売上高は20,889百万円となり前年同期比174.8%の増収、営業利益は4,995百万円となりました（前年同期は929百万円の営業損失）。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ6,880百万円増加し、136,461百万円となりました。受取手形及び売掛金が2,653百万円減少したものの、現金及び預金が5,591百万円、仕掛品が1,795百万円、商品及び製品が1,222百万円、それぞれ増加したことなどによります。

負債総額は前連結会計年度末に比べ4,936百万円増加し、54,539百万円となりました。未払金が717百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が2,757百万円、未払法人税等が2,178百万円、それぞれ増加したことなどによります。

純資産は、為替換算調整勘定が2,344百万円減少したものの、利益剰余金が4,453百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1,944百万円増の81,921百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ6,384百万円増加し、33,974百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上や、仕入債務の増加などにより、10,367百万円のプラス（前年同期は12,617百万円のプラス）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得などにより、2,424百万円のマイナス（前年同期は3,915百万円のマイナス）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払や長期借入金の返済などにより、661百万円のマイナス（前年同期は4,475百万円のマイナス）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の収益動向を勘案し、平成22年12月期通期連結業績予想を、以下のとおりといたします。

通期連結業績予想

(単位：百万円)

	前回予想 (8月4日時点)	今回予想 (11月8日時点)	差額
売上高	114,000	116,000	2,000
営業利益	9,000	10,000	1,000
経常利益	8,500	9,700	1,200
当期純利益	5,200	5,800	600

セグメント別通期連結業績予想

売上高

(単位：百万円)

	前回予想 (8月4日 時点)	今回予想 (11月8日 時点)	差額
自動車	36,000	36,000	—
分析	31,500	31,500	—
医用	21,500	22,000	500
半導体	25,000	26,500	1,500
合計	114,000	116,000	2,000

営業利益

(単位：百万円)

	前回予想 (8月4日 時点)	今回予想 (11月8日 時点)	差額
自動車	600	600	—
分析	1,300	1,300	—
医用	1,800	2,300	500
半導体	5,300	5,800	500
合計	9,000	10,000	1,000

通期の連結業績予想につきましては、円高によるマイナスの影響があるものの、当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況及び第4四半期連結会計期間の需要動向を勘案し、売上高を2,000百万円、営業利益を1,000百万円、経常利益を1,200百万円、当期純利益を600百万円、それぞれ上方修正いたしました。

セグメント別では、血球計数装置の販売や検査試薬の需要が引き続き堅調に推移し、コスト削減効果も見込まれる医用システム機器部門で売上高を500百万円、営業利益を500百万円、それぞれ上方修正いたしました。また、第4四半期連結会計期間におけるシリコン半導体や発光ダイオード(LED)などの製造装置メーカーの生産見通しに不確定要素が残るものの、当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況を勘案し、半導体システム機器部門では、売上高を1,500百万円、営業利益を500百万円、それぞれ上方修正いたしました。

自動車システム機器部門、分析システム機器部門につきましては前回予想を据え置きました。

なお、個別業績予想ならびに当期の配当予想につきましては、変更はありません。

※業績予想につきましては平成22年11月8日現在のデータに基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績は、これらの予想数値と異なる場合があります。その要因のうち、主なものは以下のとおりですが、これに限られるものではありません。

事業に関するリスク

(為替相場の変動を含む国際的活動に伴う諸リスク、買収や提携に伴う業績や財政状態の変化リスク、自然災害による設備の破損とそれに伴う納期遅延等リスク、契約や取引に関するリスク、各種法規制等)

開発・製造に関するリスク

(製造物責任によるリスク、新製品開発の遅延リスク、知的財産権に関するリスク、原材料価格変動のリスク)

財務に関するリスク

(保有有価証券やその他資産の時価の変動、制度変更や会計上の方針変更に伴う繰延税金資産の取り崩しなどの発生)

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

イ. たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸資産残高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出しております。

ロ. 固定資産の減価償却費の算出方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算出しております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①工事契約に関する会計基準の適用

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、主として工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」

(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。これによる売上高、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

②表示方法の変更

(四半期連結貸借対照表関係)

前第3四半期連結会計期間末において、無形固定資産の「その他」に含めて表示しておりました「ソフトウェア」は、重要性が増したため区分掲記しております。なお、前第3四半期連結会計期間末の無形固定資産の「その他」に含まれる「ソフトウェア」は5,831百万円であります。

(追加情報)

1. 退職給付会計

国内連結子会社1社は、退職給付に係る会計処理をより適正に行うため、前連結会計年度の第4四半期連結会計期間より退職給付債務の計算方法について簡便法から原則法へ変更したため、前第3四半期連結累計期間と当第3四半期連結累計期間で退職給付債務の計算方法が異なっております。

これにより、前第3四半期連結累計期間は、変更後の方法によった場合に比べて、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ6百万円多く計上されております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

2. 連結納税

当社及び当社の一部の連結子会社は、平成23年12月期より連結納税制度の適用を受けることにつき、承認申請を行いました。また、当第3四半期連結累計期間より「連結納税制度を適用する場合の税効果会計に関する当面の取扱い(その1)」(実務対応報告第5号)及び「連結納税制度を適用する場合の税効果会計に関する当面の取扱い(その2)」(実務対応報告第7号)に基づき、連結納税制度の適用を前提とした会計処理を行っております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,111	21,520
受取手形及び売掛金	31,858	34,511
有価証券	7,117	6,465
商品及び製品	9,032	7,809
仕掛品	10,264	8,468
原材料及び貯蔵品	8,223	7,086
繰延税金資産	3,216	2,080
その他	2,556	2,788
貸倒引当金	△708	△825
流動資産合計	98,671	89,904
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,805	9,604
機械装置及び運搬具（純額）	3,657	3,985
土地	7,345	7,153
建設仮勘定	429	156
その他（純額）	2,567	2,702
有形固定資産合計	22,806	23,602
無形固定資産		
のれん	229	293
ソフトウェア	5,099	5,727
その他	423	563
無形固定資産合計	5,753	6,585
投資その他の資産		
投資有価証券	3,889	4,482
繰延税金資産	2,247	2,216
その他	3,304	2,923
貸倒引当金	△212	△133
投資その他の資産合計	9,229	9,488
固定資産合計	37,789	39,676
資産合計	136,461	129,580

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,324	10,567
短期借入金	6,201	6,618
未払金	7,685	8,403
未払法人税等	2,845	666
繰延税金負債	53	24
賞与引当金	1,441	835
役員賞与引当金	167	16
製品保証引当金	935	898
その他	6,991	6,153
流動負債合計	39,646	34,183
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	1,189	1,730
繰延税金負債	116	30
退職給付引当金	1,691	1,675
役員退職慰労引当金	241	254
債務保証損失引当金	67	56
その他	1,586	1,673
固定負債合計	14,893	15,420
負債合計	54,539	49,603
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,011	12,011
資本剰余金	18,717	18,717
利益剰余金	55,549	51,095
自己株式	△804	△811
株主資本合計	85,473	81,012
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	699	932
為替換算調整勘定	△4,383	△2,039
評価・換算差額等合計	△3,684	△1,106
新株予約権	126	59
少数株主持分	5	11
純資産合計	81,921	79,977
負債純資産合計	136,461	129,580

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	72,652	82,713
売上原価	40,936	45,613
売上総利益	31,715	37,099
販売費及び一般管理費	29,575	29,326
営業利益	2,139	7,773
営業外収益		
受取利息	132	84
受取配当金	46	45
為替差益	99	—
雑収入	366	323
営業外収益合計	646	452
営業外費用		
支払利息	537	380
為替差損	—	46
雑損失	70	56
営業外費用合計	608	483
経常利益	2,178	7,742
特別利益		
固定資産売却益	6	40
投資有価証券売却益	—	5
貸倒引当金戻入額	—	16
特別利益合計	6	62
特別損失		
固定資産売却損	2	0
固定資産除却損	23	32
減損損失	8	40
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	25	253
債務保証損失引当金繰入額	—	11
たな卸資産評価損	472	—
その他	0	—
特別損失合計	532	338
税金等調整前四半期純利益	1,651	7,466
法人税、住民税及び事業税	1,239	3,623
法人税等調整額	△862	△1,160
法人税等合計	377	2,463
少数株主損失(△)	△12	△4
四半期純利益	1,286	5,008

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,651	7,466
減価償却費	3,324	3,202
減損損失	8	40
のれん償却額	26	27
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	193	67
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△44	115
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△623	△12
受取利息及び受取配当金	△179	△129
支払利息	537	380
為替差損益 (△は益)	56	48
固定資産売却損益 (△は益)	—	△40
有形固定資産売却損益 (△は益)	△4	—
固定資産除却損	23	32
有価証券評価損益 (△は益)	—	4
投資有価証券評価損益 (△は益)	25	253
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△4
売上債権の増減額 (△は増加)	10,492	587
たな卸資産の増減額 (△は増加)	4,016	△5,879
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,618	3,634
その他	△586	1,359
小計	15,299	11,155
利息及び配当金の受取額	195	131
利息の支払額	△606	△438
法人税等の支払額	△2,270	△482
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,617	10,367
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△149	△654
定期預金の払戻による収入	—	577
拘束性預金の預入による支出	—	△262
有価証券の取得による支出	△99	△231
有価証券の売却による収入	—	462
有形固定資産の取得による支出	△3,230	△2,281
有形固定資産の売却による収入	120	175
無形固定資産の取得による支出	△383	△111
投資有価証券の取得による支出	△14	△97
投資有価証券の売却及び償還による収入	12	87
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△122	—
貸付けによる支出	△0	△76
貸付金の回収による収入	1	14
その他	△48	△26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,915	△2,424

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,167	407
長期借入れによる収入	6	163
長期借入金の返済による支出	△678	△515
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△163	△168
新株予約権の行使による株式の発行による収入	9	—
自己株式の純増減額 (△は増加)	—	△0
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△1,480	△548
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,475	△661
現金及び現金同等物に係る換算差額	78	△896
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,305	6,384
現金及び現金同等物の期首残高	22,660	27,590
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,965	33,974

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日）

	自動車計測 システム機器 (百万円)	分析 システム機器 (百万円)	医用 システム機器 (百万円)	半導体 システム機器 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対す る売上高	26,112	22,749	16,188	7,601	72,652	—	72,652
(2)セグメント間の 内部売上高	—	—	—	—	—	—	—
計	26,112	22,749	16,188	7,601	72,652	—	72,652
営業利益又は 営業損失(△)	1,063	751	1,253	△929	2,139	—	2,139

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日）

	自動車計測 システム機器 (百万円)	分析 システム機器 (百万円)	医用 システム機器 (百万円)	半導体 システム機器 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対す る売上高	21,867	23,174	16,781	20,889	82,713	—	82,713
(2)セグメント間の 内部売上高	—	—	—	—	—	—	—
計	21,867	23,174	16,781	20,889	82,713	—	82,713
営業利益又は 営業損失(△)	△251	1,141	1,887	4,995	7,773	—	7,773

(注) 1. 事業区分の方法

当社の事業区分は、当社製品の市場における使用目的に応じて区分しております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
自動車計測システム機器	エンジン排ガス計測システム、使用過程車用排ガス分析計、車載型排ガス分析装置、ドライブレインテストシステム、エンジンテストシステム、ブレーキテストシステム、ドライブレコーダ
分析システム機器	科学用分析装置（粒子径分布測定装置、蛍光X線分析装置、ラマン分光分析装置、分光器、グレーティング）、環境用測定装置（pHメータ、煙道排ガス分析装置、水質分析装置、大気汚染監視用分析装置）
医用システム機器	血液検査装置（血球計数装置、免疫測定装置、生化学用検査装置、血糖値検査装置）
半導体システム機器	マスフローコントローラ、薬液濃度モニタ、半導体・液晶用薄膜計測システム、半導体異物検査装置、残留ガス分析装置

3. 追加情報

当第3四半期連結累計期間
(退職給付に係る会計処理)

「追加情報」1.に記載のとおり、国内連結子会社1社は、退職給付に係る会計処理をより適正に行うため、前連結会計年度の第4四半期連結会計期間より退職給付債務の計算方法について簡便法から原則法へ変更したため、前第3四半期連結累計期間と当第3四半期連結累計期間で退職給付債務の計算方法が異なっております。これにより、前第3四半期連結累計期間は、変更後の方法によった場合に比べて、営業利益は、自動車計測システム機器で0百万円、分析システム機器で5百万円、医用システム機器で0百万円、半導体システム機器で0百万円それぞれ増加しております。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	アメリカ (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	30,386	12,233	27,163	2,868	72,652	—	72,652
(2)セグメント間の内部売上高	6,511	1,116	2,389	1,233	11,251	(11,251)	—
計	36,898	13,349	29,553	4,102	83,903	(11,251)	72,652
営業利益	279	352	402	396	1,431	708	2,139

当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

	日本 (百万円)	アメリカ (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	36,704	13,352	28,148	4,508	82,713	—	82,713
(2)セグメント間の内部売上高	13,762	1,186	2,714	1,448	19,112	(19,112)	—
計	50,467	14,538	30,862	5,956	101,826	(19,112)	82,713
営業利益	5,390	702	628	907	7,629	144	7,773

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

- (1) アメリカ…北米・南米全域
- (2) 欧州……欧州全域、ロシア、アフリカ
- (3) アジア……日本を除くアジア・オセアニア全域

3. 追加情報

当第3四半期連結累計期間
(退職給付に係る会計処理)

「追加情報」1.に記載のとおり、国内連結子会社1社は、退職給付に係る会計処理をより適正に行うため、前連結会計年度の第4四半期連結会計期間より退職給付債務の計算方法について簡便法から原則法へ変更したため、前第3四半期連結累計期間と当第3四半期連結累計期間で退職給付債務の計算方法が異なっております。これにより、前第3四半期連結累計期間は、変更後の方法によった場合に比べて、日本の営業利益は6百万円増加しております。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日）

	アメリカ	欧州	アジア	計
I 海外売上高（百万円）	13,963	21,811	10,905	46,680
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	72,652
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	19.2	30.1	15.0	64.3

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日）

	アメリカ	欧州	アジア	計
I 海外売上高（百万円）	15,105	22,406	14,000	51,512
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	82,713
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	18.3	27.1	16.9	62.3

- （注） 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
 2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。
 (1) アメリカ…北米・南米全域
 (2) 欧州……欧州全域、ロシア、アフリカ
 (3) アジア……日本を除くアジア・オセアニア全域
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

- （6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
 該当事項はありません。

4. 補足情報

平成22年12月期 第3四半期 決算概要

連結

1. 連結決算業績

	22/12実績	21/12実績	対前年同期増減		22/12予想	21/12実績	対前期増減	
	3Q(9ヶ月)	3Q(9ヶ月)	金額	率	通期	通期	金額	率
	百万円	百万円	百万円		百万円	百万円	百万円	
売上	82,713	72,652	+10,061	+13.8%	116,000	104,538	+11,461	+11.0%
営業利益	7,773	2,139	+5,633	+263.3%	10,000	5,144	+4,855	+94.4%
営業利益率	9.4%	2.9%	+6.5P		8.6%	4.9%	+3.7P	
経常利益	7,742	2,178	+5,564	+255.5%	9,700	5,274	+4,425	+83.9%
経常利益率	9.4%	3.0%	+6.4P		8.4%	5.0%	+3.4P	
当期純利益	5,008	1,286	+3,721	+289.3%	5,800	3,161	+2,638	+83.4%
当期純利益率	6.1%	1.8%	+4.3P		5.0%	3.0%	+2.0P	
US\$	89.49	94.96	△5.47		87.00	93.65	△6.65	
Euro	117.62	129.58	△11.96		115.00	130.35	△15.35	

2. 連結セグメント別業績

売上	22/12実績	21/12実績	対前年同期増減		22/12予想	21/12実績	対前期増減	
	3Q(9ヶ月)	3Q(9ヶ月)	金額	率	通期	通期	金額	率
	百万円	百万円	百万円		百万円	百万円	百万円	
自動車	21,867	26,112	△4,244	△16.3%	36,000	37,192	△1,192	△3.2%
分	23,174	22,749	+425	+1.9%	31,500	32,525	△1,025	△3.2%
医用	16,781	16,188	+592	+3.7%	22,000	22,337	△337	△1.5%
半導体	20,889	7,601	+13,287	+174.8%	26,500	12,483	+14,016	+112.3%
Total	82,713	72,652	+10,061	+13.8%	116,000	104,538	+11,461	+11.0%

営業利益	22/12実績	21/12実績	対前年同期増減		22/12予想	21/12実績	対前期増減	
	3Q(9ヶ月)	3Q(9ヶ月)	金額	率	通期	通期	金額	率
	百万円	百万円	百万円		百万円	百万円	百万円	
自動車	△251	1,063	△1,315	-	600	1,810	△1,210	△66.9%
分	1,141	751	+390	+51.9%	1,300	1,519	△219	△14.5%
医用	1,887	1,253	+633	+50.5%	2,300	1,912	+387	+20.2%
半導体	4,995	△929	+5,925	-	5,800	△98	+5,898	-
Total	7,773	2,139	+5,633	+263.3%	10,000	5,144	+4,855	+94.4%

3. 連結[仕向地別]セグメント別売上

	22/12実績	21/12実績	対前年同期増減		22/12予想	21/12実績	対前期増減	
	3Q(9ヶ月)	3Q(9ヶ月)	金額	率	通期	通期	金額	率
	百万円	百万円	百万円		百万円	百万円	百万円	
自動車	21,867	26,112	△4,244	△16.3%	36,000	37,192	△1,192	△3.2%
日本	7,962	9,098	△1,136	△12.5%	12,700	12,988	△288	△2.2%
アジア	4,272	4,582	△309	△6.8%	6,900	6,515	+384	+5.9%
アメリカ	3,397	4,673	△1,275	△27.3%	6,200	6,504	△304	△4.7%
欧州	6,235	7,758	△1,522	△19.6%	10,200	11,182	△982	△8.8%
分	23,174	22,749	+425	+1.9%	31,500	32,525	△1,025	△3.2%
日本	10,548	9,699	+848	+8.7%	14,600	13,540	+1,059	+7.8%
アジア	3,957	3,507	+449	+12.8%	4,900	5,150	△250	△4.9%
アメリカ	3,883	4,089	△205	△5.0%	5,500	5,537	△37	△0.7%
欧州	4,786	5,453	△667	△12.2%	6,500	8,297	△1,797	△21.7%
医用	16,781	16,188	+592	+3.7%	22,000	22,337	△337	△1.5%
日本	3,623	3,232	+391	+12.1%	4,800	4,322	+477	+11.1%
アジア	1,501	1,282	+218	+17.0%	1,800	1,899	△99	△5.2%
アメリカ	4,501	4,086	+415	+10.2%	6,100	5,665	+434	+7.7%
欧州	7,154	7,587	△432	△5.7%	9,300	10,449	△1,149	△11.0%
半導体	20,889	7,601	+13,287	+174.8%	26,500	12,483	+14,016	+112.3%
日本	9,066	3,940	+5,126	+130.1%	12,000	6,518	+5,481	+84.1%
アジア	4,269	1,533	+2,736	+178.5%	5,300	2,424	+2,875	+118.6%
アメリカ	3,322	1,114	+2,207	+198.0%	4,300	1,895	+2,404	+126.9%
欧州	4,230	1,013	+3,217	+317.4%	4,900	1,645	+3,254	+197.8%
Total	82,713	72,652	+10,061	+13.8%	116,000	104,538	+11,461	+11.0%

4. 連結決算業績(四半期比較)

	22/12				21/12実績			
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q予想	1Q	2Q	3Q	4Q
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上	26,817	28,284	27,611	33,286	25,451	23,579	23,620	31,886
営業利益	1,990	2,559	3,167	2,226	2,043	△ 425	521	3,004
営業利益率	7.4%	9.0%	11.5%	6.7%	8.0%	△ 1.8%	2.2%	9.4%
経常利益	1,963	2,618	3,105	1,957	1,887	△ 176	467	3,096
経常利益率	7.3%	9.3%	11.2%	5.9%	7.4%	△ 0.7%	2.0%	9.7%
四半期純利益	1,383	1,623	2,001	791	967	53	265	1,875
四半期純利益率	5.2%	5.7%	7.3%	2.4%	3.8%	0.2%	1.1%	5.9%
US\$	90.69	92.03	85.75	79.53	93.76	97.42	93.70	89.72
Euro	125.49	116.95	110.42	107.14	122.01	132.83	133.90	132.66

5. 連結セグメント別業績(四半期比較)

売上	22/12				21/12実績			
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q予想	1Q	2Q	3Q	4Q
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
自動車	7,005	8,107	6,754	14,132	9,988	8,380	7,742	11,080
分析	8,370	7,283	7,520	8,325	8,182	7,391	7,175	9,776
医用	5,417	5,710	5,654	5,218	5,076	5,633	5,478	6,148
半導体	6,023	7,183	7,682	5,610	2,203	2,173	3,224	4,881
Total	26,817	28,284	27,611	33,286	25,451	23,579	23,620	31,886

営業利益	22/12				21/12実績			
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q予想	1Q	2Q	3Q	4Q
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
自動車	△ 327	143	△ 83	851	1,415	△ 20	△ 330	746
分析	567	56	502	158	682	△ 115	185	767
医用	494	584	796	412	302	477	473	659
半導体	1,256	1,774	1,952	804	△ 357	△ 766	194	830
Total	1,990	2,559	3,167	2,226	2,043	△ 425	521	3,004

6. 連結セグメント別受注・受注残状況(四半期比較)

受注	22/12				21/12実績			
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q予想	1Q	2Q	3Q	4Q
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
自動車	10,357	8,033	12,544	-	5,527	8,530	8,648	8,128
分析	8,213	7,943	8,472	-	6,795	7,827	7,668	9,101
医用	5,725	5,613	5,330	-	5,575	5,513	5,512	5,910
半導体	6,827	7,149	7,448	-	1,580	2,526	3,809	5,338
Total	31,124	28,740	33,796	-	19,478	24,397	25,638	28,479

受注残	22/12				21/12実績			
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q予想	1Q	2Q	3Q	4Q
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
自動車	19,104	19,030	24,821	-	17,649	17,798	18,704	15,753
分析	7,216	7,876	8,828	-	7,119	7,555	8,047	7,373
医用	2,327	2,230	1,906	-	2,343	2,223	2,256	2,019
半導体	2,981	2,947	2,714	-	782	1,135	1,720	2,177
Total	31,630	32,086	38,270	-	27,894	28,712	30,730	27,323

7. 資本的支出・減価償却費・研究開発費

	22/12			21/12	
	3Q実績(9ヶ月)	通期予想		3Q実績(9ヶ月)	通期実績
	百万円	百万円		百万円	百万円
資本的支出※	2,818	4,500		3,569	4,534
減価償却費	3,229	4,500		3,351	4,573
研究開発費	7,179	10,000		7,145	9,831

※ 有形固定資産及び無形固定資産への投資額です。

IR窓口

株式会社 堀場製作所 財務本部 上杉 英太

〒601-8510 京都市南区吉祥院宮の東町2番地 TEL 075-325-5003(直通) E-mail eita.uesugi@horiba.com